

# 令和元年度

小規模多機能型居宅介護事業所

## おきなぎの家 「サービス評価」

◆ 自己評価

事業所自己評価…………… (事-①～⑨)

◆ 小規模多機能型居宅介護『サービス評価』総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画	
<p>(ア) 常に普段と様子が違う方がおられないか気につけ、必要であれば声掛けやご家族への聞き取りを行う。                  (イ) 利用開始前の面接でご利用者の情報収集に努め、利用開始後も日常的に情報収集する。それを情報シートに集約して共有する。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>(ア・イ…できている点) ご利用前の面接で支援するにあたり、ご利用者の情報はできる限り引き出し、フェイスシート (氏名・生年月日、家族構成等ご利用者の基本的な情報収集の書類) へ記載し、職員間では初回面接記録シート (フェイスシートから必要な所を抜粋した書類) を用いて情報共有をしている。送迎、訪問、宿泊ご利用時に前回ご利用時と様子が違うと気づいた職員が、他職員に状況状態を伝えて必要に応じてご家族に連絡相談していた。情報収集についても、職員間の申し送りノート、パソコンに記録として残し、休みの職員も出勤時に確認ができ、共有できていた。</p> <p>(イのみ…できていない点) 追加で知り得た情報を再集約してフェイスシートや、初回面接記録シートに記載する事ができていなかった。→その都度追加情報が出てくるので、その度にフェイスシートや、面接記録シートに記録する事より、随時確認するパソコンに記録を残しているか、申し送りノートに記録を残している。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2人	6人	0人	0人	8人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4人	4人	0人	0人	8人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4人	4人	0人	0人	8人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	6人	0人	0人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	フェイスシートや初回面接記録シートを基に、ケアマネから口頭で伝達している。休みの職員に関しては、出勤時に初回面接記録シートや申し送りノート、前日出勤職員へ確認し情報共有できていた。
②	サービス利用の経緯と現在の状態等新規面接時に再度聞き取りし、ご利用者・ご家族が何を必要としているか利用目的について確認し合いながら、必要とするサービスが支援できていた。(事業所が対応できるサービスを組み合わせ提案した) 緊急で宿泊対応となった事があるが、連続しての宿泊になると職員数に限りがあり事業所では対応しきれない為、同施設のショートステイを利用してもらえるように調整し、ご家族、同施設の担当者と連絡を取り合っ対応できていた。(その場合、当事業所との契約は一旦解除となる)
③	共通の話題を探し、身近に感じていただけるよう工夫している。ご利用者がまだ慣れておられない時期に、知っている職員が訪問・通いの送迎に伺うと安心された様子を伺う事ができていた。
④	初回ご利用の後、ご利用者・ご家族の方にご利用してどんな感じであったか、体調も崩されていないかなど聞き取りを訪問時や送迎時に会って声掛け確認ができていた。困っておられるご利用者・ご家族の

方に関しては、ケアマネが直接自宅へ行き訴えを傾聴し、必要なサービス提供と一緒に考える事ができていた。又、必要な事については、職員に伝達する事もできていた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

\*上記の項目で あまりできていない、ほとんどできていない箇所に記入が無かった為、今年度はできていない点はなしとする。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・利用開始後も日常的に情報収集し、新しい情報が見つかった時は職員間で共有し、情報シートの追加・変更記載をケアマネに伝える。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月21日(月)  
(15:00 ~ 15:25)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	4人	0人	8人

前回の改善計画

(ア) 職員全員がご利用者との日々の関わりやご利用者・ご家族から収集した「～したい」をミーティングやカンファレンスを通して共有し、職員全員がケアプランの作成に参加した事でケアプランを意識した支援ができる。

(イ) ご利用者の「～したい」事が実践できるようにケアプランの内容を反映し、ケアプランよりも短期間で行える目標を設定して支援に取り組み、取り組んだ内容をカンファレンス等で評価できる仕組みづくりに取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

(ア、イ…できている点) 初回面接時や担当者会議、毎月ケアマネが自宅へ訪問し1ヶ月の様子を伺ったり、サービス組み合わせの確認をさせてもらい、必要な情報については、その都度ケアマネから職員間に申し送りあり。そこで「～したい」という事より、「～ならできる」など情報があればケアプラン作成より先に、申し送りを受け実行する事はできていた。又、ケアプランの見直し前には、ケアマネから職員に情報収集し、必要な情報については、ケアプランに落とし込みできていた。ケアプラン作成後は回覧で各自目を通す事はできていた。

(ア、イ…できていない点) 「～したい」と言う希望がご利用者から確認出来ない事もあり、ご家族から確認させてもらいケアプランに反映している事もある。本当にご利用者が「したい」事なのか、明確にならない事もある。ケアプランの期間が1年又は2年の設定になっており、状態変化が見られた時は、ケアプランを見直し、カンファレンスも実施できていた。しかし、一日の職員数であったり時間やご利用者の意欲低下等もあり、「～したい」事が引き出せず短期間で行える目標設定の支援には取り組めていない。ケアプランを意識した支援についての改善計画としては、ケアプランの確認を各自していたが、その時限りとなっている事が多く常に見える状態・見やすい環境作り・確認する時間等が職員間で浸透しきれていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2人	3人	3人	0人	8人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	2人	3人	0人	8人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	3人	3人	0人	8人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	4人	2人	0人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②③関わりを持つ前は、おきなぎの家の運営方針や、どんな活動をしているか一日のスケジュールを伝え、又ご利用者やご家族からも自宅での様子を聞かせてもらい、会話の中から目標となる事をケアマネが引き出し、ご利用者・ご家族にも確認しながら目標設定している。

④サービス提供時に、毎回「～したい」事を常に対応する事は、時間・その日の予定、職員数等もあり難しいが、「～したい」「～できる」事に関する機会を作った時には関わりができています。(調理手伝い・洗濯物たたみ・色塗り・編み物・工作・裁縫・畑仕事・毎月1～2回の買い物で外出・随時ボランティア来苑してもらい催しの観覧)何か発見や関わりに対してのご利用者の反応や気づきがあれば、ミーティング時に振り返りをし今後活かしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②③④目標設定はできているが、「ゴール」「～したい」は実際分らないご利用者も居られる為、ご家族かケアマネが質問する事でご利用者が答えられる事もあるので、実際ご利用者の本当の気持ちなのかは分らない。ご利用者が目標として「～したい」という思いがあまり無いようにも思われ、日々できているか分からない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ご利用者お一人お一人の「ゴール」「～したい」等、ケアマネからご利用者・ご家族に確認してもらい、職員間で情報共有ができ、「ゴール」する為の関わりや、「～したい」事が実践できるように計画を立て、その為に必要職員数など確保できるように体制を整える。時間が経つと、ご利用者の目標等情報が曖昧になってくるので、各自で時間を見つけファイル又はパソコンに入っているご利用者ケアプランに目を通す事で再確認もでき、お一人お一人にあったサービス提供をする。

事-②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月9日(土)  
(15:00~15:25)

3. 日常生活の支援

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	1人	0人	8人

前回の改善計画

(ア) 職員全員で利用者の情報収集に努め、その情報をケアマネが集約し、フェイスシートや面接記録をその都度更新して職員間で共有し、利用者の状況把握に努める。

(イ) ご利用者が在宅での生活を継続できるよう、本人の生活や体調に変化があるようであれば、随時ミーティングや、ご家族との相談を行い、必要に応じてサービス変更する事で迅速な対応をできるようにする。また、長期的な対応が予想される場合には一定期間ごとに対応内容を見直し、必要であれば変更していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

(ア・イ…できていた点) ご利用者やご家族と接する機会(送迎・訪問時)に各職員がそれぞれの場所で必要な情報を聞き、職員間で共有し合う事ができていた。又、聞いた情報については、申し送りノートやパソコンに記載もできていた。早急に対応が必要な状況・状態にはケアマネがサービス調整や必要機関に連絡調整など迅速に対応できていた。

(アのみ…できていない点) フェイスシートや面接記録をその都度更新して職員間で共有する部分に関しては、状態に大きな変化があった場合には変更しているが、その都度更新はできていない。変更としても一定期間の状態変化なのか変更するタイミングも職員間で浸透しきれていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	4人	3人	0人	8人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	2人	0人	0人	8人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	6人	0人	0人	8人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	3人	0人	0人	8人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	3人	0人	0人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①職員個人ではなく、チームとして本人の情報を収集し理解・把握できている。

②本人のその日の状況・状態に応じて職員間で介護方法を相談・見直しをかけ、その時の体調に合った介護方法で対応できている。

③④⑤通い・訪問・宿泊時に、いつもと違う様子やしんどい時に「しんどい」と言えない時など、表情やバイタル測定の数値を見てその変化を捉え、体調が悪く見えるなどチームで言語化できている。又、状態に応じた対応ができるようにカンファレンスを持つ事もできている。ご家族にサービスについて早期に連絡もでき、お一人で住んでいる方にも早期対応・支援できている。(手すりやPトイレなど、福祉用具のレンタルを始め、通いから訪問など訪問回数の調整も含め支援できている)

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①職員個人となると、10個以上の把握を聞かれた時に返答できないが、他職員からの情報を含めると把握

できている。

③④⑤に関しては、あまりできていない・ほとんどできていない点に記載が無かったので記入なし。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・ご利用者の状態変化があった場合は早い段階で話し合いの場を持ち、今直ぐフェイスシートや面接記録の変更が必要かどうかも含め話し合いを行う。必要時にはケアマネが変更を行い、変更できた情報を各自で確認し対応できるようにする。
- ・職員個々に、コミュニケーションを通じてご利用者の事を知ろうとする目を養い、些細な情報でもミーティングで各自情報を出し合い、ご利用者の情報を知った上でその部分が維持できるような関わりや活動を行う。

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月12日(火)  
(15:00 ~ 15:25)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	0人	8人

前回の改善計画  
(ア) 職員全員が事業所の、[できる支援]と[できない支援]を把握し、ご利用者やご家族から問い合わせがあった場合に対応できるようにする。また事業所でできない支援がある場合や様子などが気になるご利用者がいた場合に、支援することが可能な地域住民や民生委員などを把握し、協力していただけるようご利用者・ご家族と相談しながら連絡体制を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果  
(ア…できていた点) 職員全員が事業所の[できる支援]と[できない支援]の把握ができ、ご利用者やご家族から問い合わせがあった時、対応できていた。又、事業所を利用される前にはどんなサービスがあるのかパンフレットを見てもらいながら口頭説明している。ご利用者が、サロンや買い物に行かれる時には、地域住民の方が気にかけておられ、職員と地域住民との情報共有ができていた。又、住民の方とご家族の方とも情報共有をされており、ご利用者の方が安心して参加できるよう事業所・ご家族・地域住民と連携しながら対応できていた。  
(ア…できていない…) 民生委員の一覧は事業所の事務所に掲載しているので把握する事はできていたが、民生委員の方との関わりが今年度はできていなかった。(事業所・家族・地域住民の方で対応ができていた事もあり、民生委員に協力依頼の所までは至らなかった為)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	8人	0人	0人	8人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	7人	0人	0人	8人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	7人	1人	0人	8人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	5人	2人	0人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①本人との会話の中や家族、地域、ケアマネ、包括支援センターから情報収集し、理解した上で対応できていた。利用開始後から徐々に増えてくる事もあり、その都度職員間で必要な情報は共有できていた。  
②事業所から連絡調整するだけでなく、本人や家族からも連絡して頂けるよう働きかけ支援ができていた。又、地域の行事やサロン・買い物に行けるように家族、地域、事業所と協力して対応できていた。  
③初回面接時などで、ケアマネが1日の生活スタイルを伺っており職員間で情報共有できていた。又、サービス利用時に、ご利用者とのコミュニケーションの中から把握している。  
④サービス開始前から地域での行事(サロン、体操教室)に参加されているご利用者を把握し、現在も継続して参加して頂けるよう主催者側と事業所など連携取りながら対応できていた。



できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③コミュニケーションの中から把握はできているが、実際はサービス利用がない日は事業所職員が関わらないので、どのように過ごしておられるのか分からない部分もあり、できているともはっきりとは言えない。 (聞いた話と実際の行動などが違う場合もある為)</p> <p>④各地域の民生委員の一覧が事務所に貼ってある事で把握はできているが、今現在ご利用者は、ご家族・地域住民で対応できており、民生委員の接点については今現在なし。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所職員が関わりを持っていない日、サービス利用の前後（朝・夜）どのように過ごされているか、又本人の暮らしが地域でどのようなものなのか等、ケアマネを中心に民生委員と関わりを持ち、事業所と情報共有する。</li> <li>・民生委員、事業所、ご家族や地域住民にも協力してもらいながら、ご利用者が住み慣れた家で継続して生活できるように事業所はサービスを組み換えるなど臨機応変に対応でき、暮らしを支えられる職員となる。</li> </ul>	

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 25日 (月)  
(15:00 ~ 15:25)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	0人	8人

前回の改善計画
<p>ア、地域の行事やイベントに参加する際はおきなぎの家の職員だけではなく、長寿苑職員にも協力を依頼して伊根地区以外の行事やイベントにも参加しやすくし活動の幅を広げる事ができるようになる。</p> <p>イ、毎月実施しているケースカンファレンス等を通して、ご利用者のサービス内容や提供量等を見直し、ご利用者の生活状態・心身状態にあったサービスが提供できるよう配慮すると共に、必要に応じて介護認定の変更手続きなどがスムーズに行えるよう、日頃からご利用者・ご家族とのコミュニケーションを密にとっていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>(ア…できていた点) 行事やイベントについては、毎月1回以上は計画を立て実行できていた。又昨年に引き続きRUN伴(認知症になっても地域で支え生活できるように一人でも多く理解してもらえ人を作りタスキを繋いで深める活動)にも職員3名参加した。伊根博覧会や伊根文化祭にも参加しケーキや佃煮を出店する事もできた。ボランティアの方をお招きし交流する場も増えていた。</p> <p>(イ…できていた点) ケースカンファレンスについて、毎月に限らず必要時にはカンファレンスを開催し、その方に合ったサービスについて話し合う事ができた。介護認定の変更については、日々のケアやカンファレンス等で話し合った結果、本人や家族に相談し必要時には変更もできていた。家族から変更の依頼があった時は、Drや地域連携室に相談をかけ対応できていた。</p> <p>(ア…できていない点) 長寿苑の職員にも協力を依頼する点については、事業所の職員で対応できる内容で参加し出展できていた為、協力依頼の所まではいかなかった。</p> <p>* 来年度に繋げられる為に、伊根デイサービスのご利用者や職員と一緒に忘年会の計画も立てている。又、事業所内にある多目的室にて伊根デイサービスのご利用者や職員がドライブも兼ねて昼食を摂られた事もあった。その後は、おきなぎの家のご利用者や職員とも一緒に交流を取る場も作っていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5人	3人	0人	0人	8人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7人	1人	0人	0人	8人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6人	2人	0人	0人	8人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7人	1人	0人	0人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ご家族やご利用者の住んでおられる近隣の方にも協力してもらいながら一緒に支援できていた。事業所だけで対応できない所は移送サービス(社協以外)、配食サービス、移動販売(とくし丸)シルバー人材センター、体操教室、サロンなども活用している。
②	ご利用者やご家族と密に相談しながら、サービスを入れすぎることなく必要なサービスを見つけ出し、又見直しもしながら一人一人に合ったサービスが提供できていた。

- ③通い送迎（通い時の様子）・訪問・宿泊時、各職員が関わった場面で本人や家族からの情報や、客観的に見た時に気付いた変化等、毎日のミーティングで各職員報告し合い共有できていた。休みの職員については、出勤時に申し送りノートやパソコンでの記録、口頭での伝達により共有できていた。
- ④その日の体調によって通いから訪問に切り替え対応し、状態によっては訪問の回数を増やす等も臨機応変に対応した。又、その日の状態によっては食事変更もできていた。家族が受診等で留守をする場合は、利用日とは別で（追加利用又は振り替え）通い対応できていた。ご利用者・ご家族の心身の状態や事情によって送迎時間の変更もできた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

\*上記の項目で あまりできていない、ほとんどできていない箇所に記入が無かった為、今年度はできていない点はなしとする。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・ご利用者のサービスの組み合わせや体調に応じての時間の見直しもでき、継続してご利用できるよう職員間で考え、事業所ならではの特徴を最大限に活かす事ができる。
- ・ご利用者を初め、ご家族や地域住民に向けての活動計画を行い、民生委員や地域、長寿苑の職員と共にご利用されている方にも参加又は協力依頼する事で、一体となって行事やイベントを実行できるよう取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月30日  
(15:00 ~ 15:25)

6. 連携・協働

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画
(ア) 地域の行事やイベントに参加するだけでなく、地域の方と協力しておきなぎの家独自の行事・イベントが行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
(ア…できている点) 小中学校の運動会に応援に行った事や、フェスティバルにも参加できていた。伊根博覧会や伊根文化祭にも参加出展できていた。又、地域の方(民謡・伊根保育園・学童・フラダンス等)にボランティアとして来所してもらう機会を毎月1回は持ち、披露してもらえる時間が作れた。 おきなぎの家では、流しそうめんを3回実施した。(地域の方、学童、運営推進会議メンバーに呼びかけできた)又、伊根祭り神輿の休憩所として場所を提供でき、お茶とかき氷でおもてなしができた。 地域との交流が途切れないよう毎月かわら版を作成し、それぞれの機関に配布できていた。(おきなぎの家での活動やその月のイベントの写真を掲載、次月のイベントにも参加してもらえるようPRもできた) (ア…できていない点) 運営推進会議メンバーとの連携・協働については、流しそうめんを計画したが不参加となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4人	2人	2人	0人	8人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4人	2人	0人	2人	8人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2人	6人	0人	0人	8人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2人	6人	0人	0人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①訪問看護や福祉用具が必要になった時、随時サービス担当者会議を開催できていた。 ②地域包括支援センターで毎月1回ケアマネ会議があり、ケアマネが参加している。 ③毎年1回伊根祭り前に掃除があり、平田区の一員として、おきなぎの家職員も参加している。 町内で行われる活動やイベントには積極的に参加し、外出の機会が持っている。 町内一斉の防災無線での災害時想定訓練も実施できていた。 寿茶屋で月1回行われる勉強会に、ご利用者に呼びかけ職員と一緒に参加できていた。又、おきなぎの家でボランティアをお招きした時、寿茶屋のご利用者の方にも声掛けし、一緒に観賞する事もできていた。	

④毎週火曜日に多目的室にて寿茶屋が行われており、来られている方に挨拶する等必要時は対応もしている。  
伊根デイサービスのご利用者や職員がお弁当を持って遊びに来られ、おきなぎの家のご利用者や職員と交流がとれる機会も作れた。  
学童の子供や、伊根保育園の年長の子供達のご利用者との交流を目的に遊びに来てもらえた。又、夏に行なわれる福祉体験学習で、伊根中学校の生徒2名勉強に来てもらえた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①医療機関との連携はあるが、会議開催が必要なご利用者がいなかった。
- ②自治体の会議はあるが時間や都合が合わず出席できていない。必要な事は回覧で確認している。又、回覧以外は班長の方が回って来られ情報を聞いている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・認知症や介護について不安や悩みなど登録以外の方で相談してもらえるように、民生委員や区長に呼びかける。来訪が難しい時は民生委員や区長と一緒に出向いて話を聞かせてもらえるような体制を作る。又、必要な情報は他事業所と共有し、認知症あんしんサポート相談窓口が地域に根付いてもらえるように取り組める。
- ・運営推進会議メンバーと一対一となって何かイベントや活動を行えるように計画・実行する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12月15日  
(15:00 ~ 15:25)

7. 運営

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画

(ア) 安定した運営ができるように、常に登録定員を意識してご利用者を受け入れ続ける事ができるよう地域包括支援センターと連携する。また気になる方があれば地域包括支援センターと共に訪問し、おきなぎの家を知って頂く機会を作る。

(イ) 運営推進会議で地域でのイベント等の情報を収集し、できるものには参加しておきなぎの家の広報を行う。

(ウ) 認知症あんしんサポート相談窓口の認知度が向上する活動を行い、地域の方が気軽に相談できる場がある事を知って頂く。

前回の改善計画に対する取組み結果

(ア…できていた点) ご利用者の受け入れについて、空きがあれば積極的に伊根町地域包括支援センターに声掛け、登録に向けて行動した。登録数に増減はあるが、定員まで受け入れる事もできていた。また、伊根町地域包括支援センター職員と一緒に、登録者以外の方で気になる方のお家に訪問同行し、おきなぎの家はどんな所なのか説明もさせてもらえる機会も持て、利用に繋がった。

(イ…できていた点) 運営推進会議で、地域でのイベント情報を聞き、職員間で話し合い計画・実行でき、伊根文化祭や博覧会に参加・出展した。今年は、伊根文化祭の代表者から声をかけてもらった。

(ウ…できていた点) 認知症あんしんサポート相談窓口について毎月1回伊根町広報誌に掲載でき、地域に呼びかけができていた。

(ウのみ…できていない点) 認知症あんしんサポート相談窓口の認知度が向上する活動の取り組みについて、地域の方で何かあれば、伊根町地域包括支援センターに主な相談に行かれている事と、相談窓口が伊根町では複数あるので職員間でもどのようにして事業所として活動していったらいいのか掘り下げて話し合う事ができていなかった。事業所全体の風土が受け身であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2人	5人	1人	0人	8人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	5人	0人	0人	8人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	6人	0人	0人	8人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4人	4人	0人	0人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①その時々で疑問に思う事があれば各職員、職員会議の時やミーティングで話しできている。

②運営推進会議メンバーから意見をもらい運営に反映できていた。(網戸の設置、伊根博覧会) 長寿苑全体の職員不足について、対応の方法など意見を聞かせてもらえる場が持っていた。ご利用者・ご家族から意見や要望を伺った時、随時対応できていた。苦情に関しては、今現在苦情として挙がっていない。苦情アンケートでのご意見については、文章で回答している。

- ③地域の方からの呼びかけでイベントに参加もでき、ボランティアとして地域の方がおきなぎの家に来てもらえ、ご利用者も職員も交流が持っていた。おきなぎの家としての運営が定着し、日常業務に位置付けられるようになっている。
- ④地域行事には積極的に参加できた事と、多目的室の使用を地域に向けて発信（伊根町広報誌にて）し、地域で行われる会議時は随時ご利用いただけた。又、職員より提案させていただき、伊根祭りの休憩所として多目的室や駐車場を使用してもらう事ができた。地域の方・ご利用者・職員と交流できる場も持てた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①職員会議やミーティングで日々の話しはできているが、踏み込んだ所までの話しが職員全員できているかと言えばできていないと思われる。職員の誰かきっかけを作れば話しできている。会議の場になると、堅苦しい事もありなかなか意見が出ない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・他事業所（小規模多機能）との交流を2カ月に1回持つ事で、どんな運営を他事業所はしているのか聞いたり目で見たりして意見交換をする。又、おきなぎの家のサービスの質の向上に向け、職員一人一人創意工夫し意見を出し合える職場環境を作る。（職員会議やミーティング時）
- ・登録定員数の変更ができ、新規ご利用者の受け入れができるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 1 2 月 1 6 日  
( 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 2 0 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	0人	8人

前回の改善計画
(ア) 外部研修に積極的に参加し、得た知識・技術は伝達研修を通して職員間で共有し、職員それぞれのスキルアップに繋げる。 (イ) 介護士交流会や小多連絡会等、他事業所と交流する機会には積極的に情報交換を行い、事業所内で共有し事業所・職員の業務改善、質の向上に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
(ア…できている点) 外部研修に参加した職員より学んだ知識・技術の伝達研修をしてもらい職員会議で共有できていた事と、新しい方法や考え方など今までの知識・技術の振り返りもでき、初心に戻るきっかけになった。講師側も内容を簡潔にまとめる力と、伝える力がついた。又、長寿苑で定期的に行われる研修について、職員参加する意欲があり部署全体で概ね参加できた。 (イ…できている点) 介護士交流会や小多連絡会(地域連絡会)の開催時には、必ず職員が参加できていた。事業所として思案している事例があれば、参加している職員より他事業所に意見を聞き、その後ミーティングや職員会議で共有・検討できていた。  (ア…できていない点) 外部研修に参加しようと思うが、遠方の研修が多く躊躇し参加できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2人	5人	1人	0人	8人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	3人	1人	3人	8人
③	地域連絡会に参加していますか	2人	6人	0人	0人	8人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	6人	0人	0人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①上記ア…できている点と同様	
②施設の代表として研修に参加して欲しい内容であれば、年数や経験、職務等を見て副施設長や管理者が声掛け参加できていた。	
③地域連絡会(近隣の小規模多機能型居宅介護事業所)に主任が参加していた。	
④安全で安心した生活が送れるように、利用者の状態変化に応じてその都度転倒や誤嚥などの事故のリスクを減らせるような対策をミーティングなどで話し合い対応できていた。玄関中が雨天時滑りやすいのでマットを敷いて防止、玄関上がる所も滑り易いので滑り止めマットを敷いて対応した。食事もその都度状態に合わせて形態を変えていた。自宅では、歩行不安定の方に杖や手すり設置等も対応をした。	
<b>*リスクマネジメントとは…危険が起きないように、又は被害を最小限にする事</b>	



できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①上記ア…できていない点と同様 ②資格取得やスキルアップの為の研修に参加できていないが、必要な情報は本やネット等伝達研修を受けて勉強した。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の質の向上を目指す為に、外部研修（他事業所へ研修含む）に一人一回参加する事で、個々の振り返りや新たな発見もでき、部署内での伝達研修ができる。</li> <li>・伝達研修を受け事業所内でも共有ができる事と、おきなぎの家ならではの新たな取り組みや業務改善ができる。</li> </ul>	

事-⑧

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月17日  
(15:00~15:25)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中島 塚原 森下 奥野  
白藤 中村 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	2人	0人	8人

前回の改善計画	
<p>(ア) 職員それぞれがマニュアルを確認し、身体拘束や虐待等の不適切行為を理解し、発見した場合の対応等を把握、送迎時や訪問先、事業所での業務中等にそのような行為がないか確認しあう事ができる。又、一定期間での事業所としての評価を行い、職員それぞれが対応等の見直しができる機会を持つ。</p> <p>(イ) 成年後見制度等、各種制度の利用が適切かつスムーズに行なえるよう、利用者の様子を観察し、生活状態・心身状態の変化を共有し職員それぞれが把握、事業所や関係機関と利用の検討ができる。</p> <p><b>*成年後見制度とは…認知症・知的障害・精神障害によって判断能力が低下し、自分では適切に財産管理できなくなった人が、第三者である「成年後見人」に財産を管理してもらう為の制度。</b></p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>(ア…できていた点) 身体拘束や虐待等の不適切行為は事業所内ではしていない。日々のミーティングを通して訪問でのご利用者、ご家族の訴えや様子など職員間で情報共有し、客観的に記録に残している。情報を基に、不適切になり兼ねないと思われる事例は常に職員間で話し合いをしている。ケアマネからご家族に相談し対応を一緒に考える事もできた。</p> <p>(イ…できていた点) ご自分で手続きや金銭管理ができない方に、社協の事業の一つである福祉サービス利用援助事業制度を利用して管理をしてもらっている。事業所と関係機関と常に情報共有もできている。</p> <p><b>*福祉サービス利用援助事業制度（日常生活自立支援事業）とは…認知症・知的障害・精神障害等により、判断能力が不十分な人に対して福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理を行う事業。</b></p> <p>(ア…できていない点) マニュアルの見直しがあった時は目を通して確認しているが、この一年見直しがなかった為見ていない。抱えているケースで、この事例は拘束にあてはまるのか疑問になった時には、確認するようにしている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6人	2人	0人	0人	8人
②	虐待は行われていない	7人	1人	0人	0人	8人
③	プライバシーが守られている	6人	2人	0人	0人	8人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0人	0人	0人	8人	8人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	2人	0人	0人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③⑤身体拘束や虐待はしていない。個人情報・プライバシーも第三者に漏らす事もしていない。ご利用者様の大事な情報はファイリングして事務所内で保管している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④成年後見制度利用対象者がいなかった為。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者との関係が深まる中で、通い・訪問・宿泊サービス時に、ご利用者の人権・プライバシーがきちんと守られているか日々の業務を振り返り、出来ていない部分はお互いに声に出して言い合える職員関係をつくる。</li> </ul>	

事-⑨

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	与謝郡福社会	代表者	長寿苑施設長 長谷川 栄一	法人・事業所の特徴	(法人) 与謝郡の福祉の担い手として、質の高い人材育成と職場環境の改善に努める  (おきなぎの家) もうひとつの家という考えのもと、住み慣れた家・地域で安心して生活ができるように、1つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」と3つのサービスを柔軟に組み合わせ、顔馴染みの職員が対応する事で、安心できる生活を送って頂けます。
事業所名	おきなぎの家	管理者	中島 あすか		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	1人	0人	0人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員会議や業務改善会議を通して、改めて外部評価の仕組みを全員に周知し、認識を深くする事で意欲的に取組める環境を作る。その上で改善計画を定期的に確認し、達成までの進捗状況を全員で共有する事で、確実に一つずつ達成していけるようにする。	・会議で毎年課題となっている項目を職員に伝達し、事業計画に課題を組み込み、改善できるよう職員1人1人個人の目標を立て、チームで協力し合い改善できた。(地域へ出向いてイベント参加) 他改善できていない所は会議で話しをしている。進捗状況については定期的ではないが随時状況確認・報告し達成できるよう行動に移している。	(運営推進会議メンバー) ・課題となっている項目を受け止め、達成できるように取組んでいた事も分かった。	・事業所設立され10年目を迎え、毎年少しずつではあるが地域に貢献でき、名を知ってもらえる機会も職員みんなで作る事ができた。まだ課題として残っている改善計画をしっかり受け止め、チームで話し合い取組み、達成できるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域に開かれた事業所を目標に、玄関外に「ご自由にお入りください」等の看板を設置するなど、より入りやすい工夫をしていく。併せて「おきなぎの家」の看板も役場と相談させていただき、適所に設置していきたい。並行して防犯対策にも力を入れて、より安心・安全な事業所を目指す。	・看板の件については、現段階では設置できていない。事業所の建物が分かりにくいと外部より意見をもらい、以前より運営推進会議で話し合っていました。利用者が分かればいいのではないかと役場内の相談で言われたとの事で、又時間を置いてから話しを掛け合いたいと思うと役場担当者より返事もらっている。 ・防犯対策については、長寿苑マニュアルを参考に作成する段階であり、事業所内でも作成にあたり話しをしている。	(運営推進会議メンバー) ・改善計画に対して職員からできていないと回答があり、できていないと評価する。(看板・防犯マニュアルに関して) 看板については、会議の場で話を持ちかけ行動に移していた事と、防犯対策については、長寿苑のマニュアルを参考に作成すると聞き、取組みをしている段階である事も分かった。  ・事業所のしつらえ・環境については、模様替えもできており、ご利用されている方からも不	・ご利用者、ご家族、地域住民の声を大事にし、おきなぎの家が町民に分かるように看板又は目印となる物を設置できるように町の担当者と相談し、計画・実行できるよう努める。  ・設立して10年を迎え、事業所内・外のしつらえ・環境、不良箇所等ないか日々の業務の中で気づきを持つ事、又直ぐに対処できるよう職員同士声に出し、整った環境の中でご利用者の方に生活してもらえようにする。

			快感等聞いた事がないのでできていると思われる。	
C. 事業所と地域のかかわり	地域の民生委員をはじめ、地域の関係者と積極的に話す機会を設け、行事等参加する。併せて「おきなぎの家」主催のイベント等の開催や長寿苑まつりへの出店・参加等を検討して実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議に出席の民生委員、地域の関係者と連絡を取り合い、地域での行事に参加できていた。参加だけではなく、おきなぎの家で作ったケーキや佃煮を販売する事もできていた。又、ボランティアの方をお招きし、ご利用者の方にも楽しんでもらえる機会も作れていた。地域住民や学童の方にも声を掛け一緒に流しそうめんもできた。伊根祭りでは、神輿の休憩所として場所も提供できた事と、ご利用者・地域住民・職員と関わりが持っていた。長寿苑祭りについては、今年度梅雨の時期でもあった為、規模を小さくして室内での開催であった。参加者も入居者を限定としていた事もあり、事業所としては、参加・出店はしていない。</li> </ul>	<p>(運営推進会議メンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊根博覧会では職員だけではなく、ご利用者の方も交代で一緒に販売しており、普段会えない人とも会えて良かったのではないかと思った。 Q：おきなぎの家でのイベントがなかったように思った。 A：流しそうめんを開催した (事業所職員)</li> <li>事業所と地域のかかわりについては、伊根全体で捉えると分らない。おきなぎの家に関係ない方は分かっていないと思う。伊根地区でも分かっていない方もいるので伊根地区の方は分かって欲しいと思う。 Q：今後タブレットになるので、それを使用しておきなぎの家を知ってもらったらどうかと思う。 A：今までの広報誌や無線の代わりになる物であり、事業所を知ってもらおう為の手段として使う事はできない。 (役場職員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で行われるイベントには積極的に参加し、又事業所でイベントをする時には、住民に声を掛け来訪してもらえ事繋がりを持って輪も広がり、おきなぎの家を前年度より一人でも多くの方に知ってもらえるように努める。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	行政と連携をとりながら、地域の民生委員との関係を更に密にして、地区で介入が必要、また今後必要になりそうな方々を早々に把握できるような体制づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターから、今後サービスが必要になりそうな方の紹介があり、一緒に自宅へ訪問する機会が複数回あった。訪問時はケアマネが伺った。地域の民生委員との関係に</li> </ul>	<p>(運営推進会議メンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に出向いて本人の暮らしを支える取組みについては、地域包括支援センター職員と一緒に今後サービスが必要になりそうな方宅へ訪問に行った事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス利用していない方を対象とし、各地区の民生委員の方と一緒に独居高齢者や老老介護しておられる方等、これから先サービスが必要になると思われる方宅を訪問し、(見守り</li> </ul>

		<p>ついて、運営推進会議に出席された時、各地域での民生委員の関わり方等聞かせてもらい、地域の問題点を知る事もできた。しかし、一緒にサービスが必要になりそうな方への訪問はできていなかった。</p>	<p>で、おきなぎの家の利用に繋がっていた事も会議の場で把握できた。</p>	<p>サービス) 今後何かのサービス利用に繋がるきっかけ作りができるようにする。又、伊根地区以外の住民の方にも事業所を知ってもらえるような機会を作る。(かわら版を配りながらお宅を訪問する等)</p>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>運営推進会議で、地域で気になる方等を聞き、必要であれば事例検討を行って、行政とも情報共有する等の連携体制が作れるようにする。また地区の定例会議等に参加させていただいて、地域の実情を収集する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討する方が会議の中で意見として上がらなかった。又、会議出席の職員からも確認する事もしていなかった。地区の定例会等あるが、時間が合わず参加できていなかった。何かあれば組長より報告もらえていた。</li> </ul>	<p>(運営推進会議メンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区の定例会等参加していないが、何かあれば組長より報告もらえていた事が分った。事例検討について、検討する対象者がいなかった事もあるが、事例検討する所まで踏み込んで聞く方も言う方もしていなかったと思う。</li> <li>運営推進会議を活かした取り組みについては、伊根祭りの休憩所として場所を提供してもらい、かき氷やお茶を出してもらい良かった。運営推進会議でイベントの話しをし、実際参加できていた。(博覧会) 看板の件は、毎年の課題であったが、設置ができるように話し合いをして行動に移そうとしているので、良い方向になっているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討も含め事業所の改善点等一緒に話し合い意見をもらい、運営推進会議メンバーに協力依頼できる内容であれば一緒に取り組みをする。</li> </ul>
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>火災想定訓練・津波想定訓練を計画して行う。その際に、地域の方等にも声をお掛けして訓練する際は参加や見学をしていただく。また防犯マニュアルに沿った訓練も長寿苑の防災対策委員会に協力してもらい実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線での訓練はしたが、実際の訓練は年度内にする予定。計画的には話しはしているが、防犯マニュアルに沿っての訓練はできていなかった。</li> </ul>	<p>(運営推進会議メンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線での訓練はできていた事と、3月に防災訓練を実施する事が分かった。</li> <li>事業所の防災・災害対策については、事業所で訓練する際参加した事がないので、今後訓練する際は日程調整できるように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の受け入れができるように勤務調整をする。(早い段階で想定した対応)</li> <li>地域住民を交えて防災、防犯訓練ができるように計画・実行する。</li> </ul>

			<p>あれば参加・見学をしたい。 災害になった時には電話も繋がらないのと、事業所近隣が災害場所であれば逆に助けてもらう事になると思われるので、頼りになりそうであるかと聞かれると判断が難しい所もある。 要配慮者の受け入れもしてもらえたらと思う。(役場職員)</p>	
--	--	--	---	--